

19 見守り

毎朝登校の時間帯に、学援隊のみなさんが門のところで見守りを行ってくださっています。登校班ごとに並んで歩いてくる子どもたちを、あいさつで出迎えてくださいます。子どもたちも、「おはようございます。」と元気にあいさつしています。

梅林小学校で約20年間、学援隊として見守りを続けてくださった方が、この7月で引退されました。20年間、朝にこの丘の上まで上ってきてくださっていたとは、並大抵のことではないと思っています。感謝してもし足りないほど、誠にありがたいことと思います。

私も朝、門のところであいさつをしているのですが、そのときに過去の歴代校長の姿などを懐かしそうに話してくださいました。昔とはずいぶん様子が違っているようですが、元気な子どもたちの姿は変わらない、とのことでした。

本校の学区は、大きい道路や狭いながらも交通量の多い道路などがあり、子どもたちが登校してくる際の安全確保に、十分配慮が必要な箇所が多々あります。毎朝各地区で、班ごとに並んで登校するようご協力いただき、大変ありがたく思います。狭い道を1～2列に並んで、行違う人や自転車、バイク、自動車をうまく避けて歩けるのは、日々培っている子どもたちの身を守る力で、「登校班あってこそ」と言えるのではないかと思います。今後とも、子どもたちの安全確保、自分で自分の身を守る力を育てることに、ご協力をいただきたいと思います。

また、お子さんに付き添って送ってくださる保護者の方もいらっしゃるようです。いっしょに坂を上ってくるのは大変なことかと思います。子どもたちの並ぶ列の横について歩くと、狭い道などで行き違う際に危ないこともあるようですので、特に通行が多い場所では十分お気を付けいただくようお願いします。

